

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会(千葉中央・九十九里)		
タイトル	～旧千葉県環境緑化センターの樹木 100 種で何を語るか～		
実施日時	平成 30 年 7 月 10 日 (火) 10 時～16 時		
実施場所	袖ヶ浦市 旧千葉県環境緑化センター		
受講者	名	F I C 会員他スタッフ	6 名

活動の内容

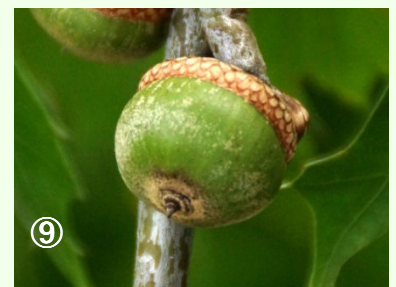
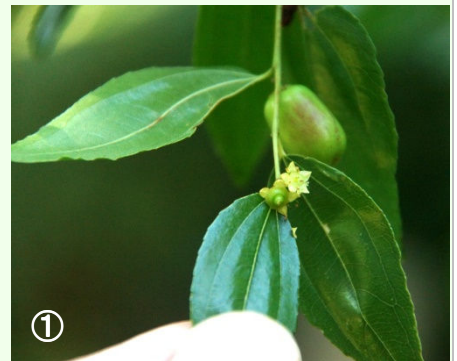
7 月度の中央・九十九里部会は、昨年 10 月に引き続き、袖ヶ浦市長浦の旧千葉環境緑化センターの植栽樹木 100 種を観察、森林インストラクターとして一般の方々にそれぞれの樹木を如何にわかりやすく説明するか?のための研修を実施しました。観察する樹木は、『FIC が選んだ千葉県の樹木、身近な樹木 100』の候補樹木を中心に、千葉県に自生する樹木だけでなく公園などでよく見かける外来種を含めた樹木の 100 種です。

企画を担当された寺嶋さんの概略説明の後、猛暑のなかを「樹木 100」の前半の部の観察を実施、午後は、「京葉臨海埋め立て地の緑化推進と環境緑化適応試験地の設置-----京葉工業地帯の工場緑化の促進をめざして」との表題で緑化推進委員会の石谷さんのお話をお聞きしました。昨年お聞きした内容と一部重複しますが、樹種構成について近隣の常緑林の潜在植生である坂戸神社の森の樹種構成を参考にしたこと、緑化の目的が主として防風、土砂飛散防止、遮音（騒音防止）等にあったため樹種は必然的に常緑樹となったこと等、大変興味深いお話でした。

その後、再び炎天下を 2 時間かけて残りの樹木観察、結局「樹木 100」の観察をすべて完了、さすがに《精根尽き果てて》終会としました。

今日の研修での話題をいくつか、当日解決しなかった話題もあるけど皆さんわかりますか？

- ① その木の葉を噛んだあと甘いお菓子を食べても少しも甘みを感じない、その木とは？ (①)
- ② ニシキギの枝に翼がつくのは有名、ではよく見かける木で他に翼がつく木は？ (②)
- ③ クロガネモチは雌雄異株だけど、町中で見かける木はすべて雌(実をつけている)。でも雄株がないと結実しないはずだが、雄株はどこにあるの？
- ④ クスノキのダニ部屋は有名、でも他にも葉にダニ部屋があるものがある、それらは？
- ⑤ よく見かける日本に昔からある樹木だが、自然の森ではまず見かけない常緑樹は？
- ⑥ 千葉県に自生する常緑のグミは何？
- ⑦ サクラ属バクチノキの蜜腺は葉柄にある、ではセイヨウバクチノキは？
- ⑧ オオシマザクラの蜜腺はどこにある？ ソメイヨシノは？
- ⑨ フォト⑨のドングリの木は？
- ⑩ オオムラサキツツジの雄しべの数は？ ヤマツツジは？



① ナツメ ② クスノキ ③ クスノキ ④ クスノキ ⑤ クスノキ、ササバカサ ⑥ オオシマザクラ、ソメイヨシノ、ウツギ ⑦ ヤマツツジ ⑧ オオシマザクラ、ソメイヨシノ、ウツギ ⑨ ドングリ ⑩ オオムラサキツツジ、ヤマツツジ